

チームラボ、国東半島芸術祭にて参加型のデジタルアート作品  
「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる – Kunisaki Peninsula」を発表。

芸術祭終了後は、常設展示へ

2014/10/4(Sat) – 2014/11/30(Sun)



#### 【本文】

大分県・国東半島にて、『国東半島芸術祭』が開催。チームラボは、参加型のデジタルアート作品「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる – Kunisaki Peninsula」を発表。期間は2014年10月4日（土）～2014年11月30日（日）まで。

なお、芸術祭終了後は、展示場所を移し、常設展示する予定です。

国東半島芸術祭：<http://kunisaki.asia>

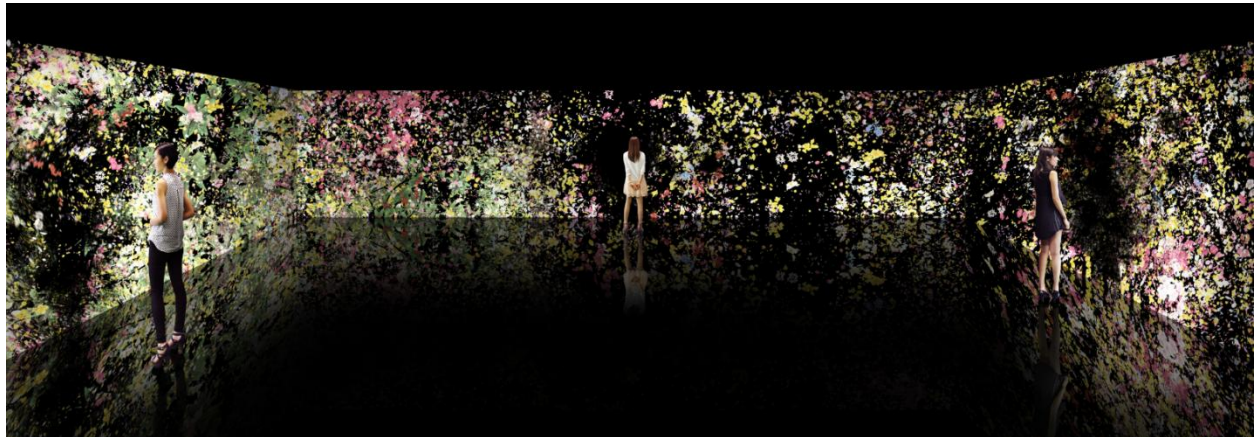
展示詳細：<http://www.team-lab.net/latest/exhibition/kunisakiartfes.html>

#### ■出品作品

花と人、コントロールできないけれども、共に生きる – Kunisaki Peninsula/ Flowers and People, Cannot

## be Controlled but Live Together – Kunisaki Peninsula

チームラボ, 2014, インタラクティブデジタルインスタレーション, 音楽: 高橋英明



作品:<http://www.team-lab.net/all/art/kunisaki.html>

この作品は、通路と広い空間により構成された、インスタレーション作品である。

国東半島に生息している花々をモチーフにしており、1時間を通して、国東半島の1年間の花々が移り変わっていく。

作品は、コンピュータプログラムによってリアルタイムで描かれ続けている。あらかじめ記録された映像を再生しているわけではない。

花は、生まれ、成長し、つぼみをつけ、花を咲かせ、やがて、散り、枯れて、消えていく。つまり、花は、誕生と死滅を、永遠と繰り返し続ける。

花は、鑑賞者との距離によって、いっせいに散り枯れたり、もしくは、より生まれ咲き渡ったりする。

全体として、以前の状態が複製されることなく、鑑賞者のふるまいの影響を受けながら、変容し続ける。今この瞬間の絵は、2度と見るできない。

国東半島に春に訪れた時に、道端に咲く花々を見て、そして山の中にまばらに咲く桜を見て、それらの花々のどこまでが人が植えたものなのか、そして、どこまでが自生している花々なのか、疑問に思っていた。

しかし、人里で花が咲き渡っているのを見て、当たり前だが、この地の人々が花を愛し植えているからこそ、その影響で、自生している花々も多くなっていることに気付かされたのだ。

我々が国東半島の自然と呼ぶその自然は、人間の影響を受けた生態系であり、つまり、人間が自然の中に人間的な価値を見つけ、その価値を実現するために、継続的に人間の手が入り続けることによって存在する、人間にとって都合の良い人為的な自然である。

しかしながら、人間にとって何か不都合な問題を解決するために行った行為は、おうおうにして、予測不可能なところで何かが破壊され、人間にとって都合の良い価値が崩壊する。

### 【開催概要】

国東半島芸術祭

会期：2014年10月4日（土）～11月30日（日）

会場：真玉海岸海水浴場北側 300m ([大分県豊後高田市白野](#))

開館時間：10:00～17:00(最終入場 16:30)

休館日：水曜日

観覧料：無料

※詳しくは[公式ホームページ](http://kunisaki.asia/matamaproject)をご覧ください

URL:<http://kunisaki.asia/matamaproject>

## ■国東半島芸術祭

<http://kunisaki.asia>

## ■チームラボとは

プログラマー・エンジニア（UI エンジニア、DB エンジニア、ネットワークエンジニア、ハードウェアエンジニア、コンピュータビジョンエンジニア、ソフトウェアアーキテクト）、数学者、建築家、CG アニメーター、Web デザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者など、スペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。サイエンス・テクノロジー・アート・デザインの境界線を曖昧にしながら活動中。

主な実績として、カイカイキキギャラリー台北（台湾）で『生きる』展開催（2011）。『LAVAL VIRTUAL』（フランス）にて「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」が建築・芸術・文化賞を受賞（2012）。国立台湾美術館（台湾）にてチームラボ「We are the Future」展を開催（2012）。『シンガポールビエンナーレ 2013』にて、「秩序がなくともピースは成り立つ」を展示（2013～2014年）。「チームラボと佐賀 巡る！巡り巡って巡る展」（佐賀）を開催（2014）。東京駅の商業施設「KITTE」にて、新作「時に咲く花」を常設展示（2014～）。『Art Basel - Hong Kong』（香港）にて、「増殖する生命 - Gold」を展示（2014）。Pace Gallery（アメリカ・ニューヨーク）にて『teamLab: Ultra Subjective Space』を開催、デジタルアート作品 6 作品を展示（2014）。『香川ウォーターフロント・フェスティバル』など香川県内 3 会場で、ショーとデジタルアート作品を展示する『チームラボと香川 夏のデジタルアート祭り』を開催（2014）。東京都現代美術館（東京）にて人工衛星の実物大模型に高さ 19m の滝をプロジェクションマッピングする「憑依する滝、人工衛星の重力」を発表（2014）。Pace Gallery（北京）のグループ展『We Love Video This Summer』に参加（2014）。「秩序がなくともピースは成り立つ」が『アルス・エレクトロニカ』にて、Interactive Art 部門の Honorary Mention（入選）を受賞（2014）。

『チームラボって、何者？』がマガジンハウスより刊行（2013年 12月 19日）。

現在、グッチ新宿（東京）にて、新作「Infinity of Flowers」を展示（9月 13日～9月 28日）。ハウステンボス（長崎）のイベント『秋の光の王国』にて新作「呼応する木々」を発表（9月 13日～10月 30日）。

今後の予定として、『Garden of Unearthly Delights: Works by Ikeda, Tenmyouya & teamLab』（アメリカ／ニューヨーク）で新作含む 5 作品を展示（10月 10日～2015年 1月 11日）、『チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地』（東京）にて、デジタルアート作品と「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」を同時展示（11月 29日～2015年 3月 1日）など。

チームラボ株式会社

<http://www.team-lab.com/>

チームラボ作品紹介

<http://www.team-lab.net/>

## ■本件に関するお問い合わせ

チームラボ（広報担当・工藤／江城／森）

[lab-pr@team-lab.com](mailto:lab-pr@team-lab.com)

03-5804-2356